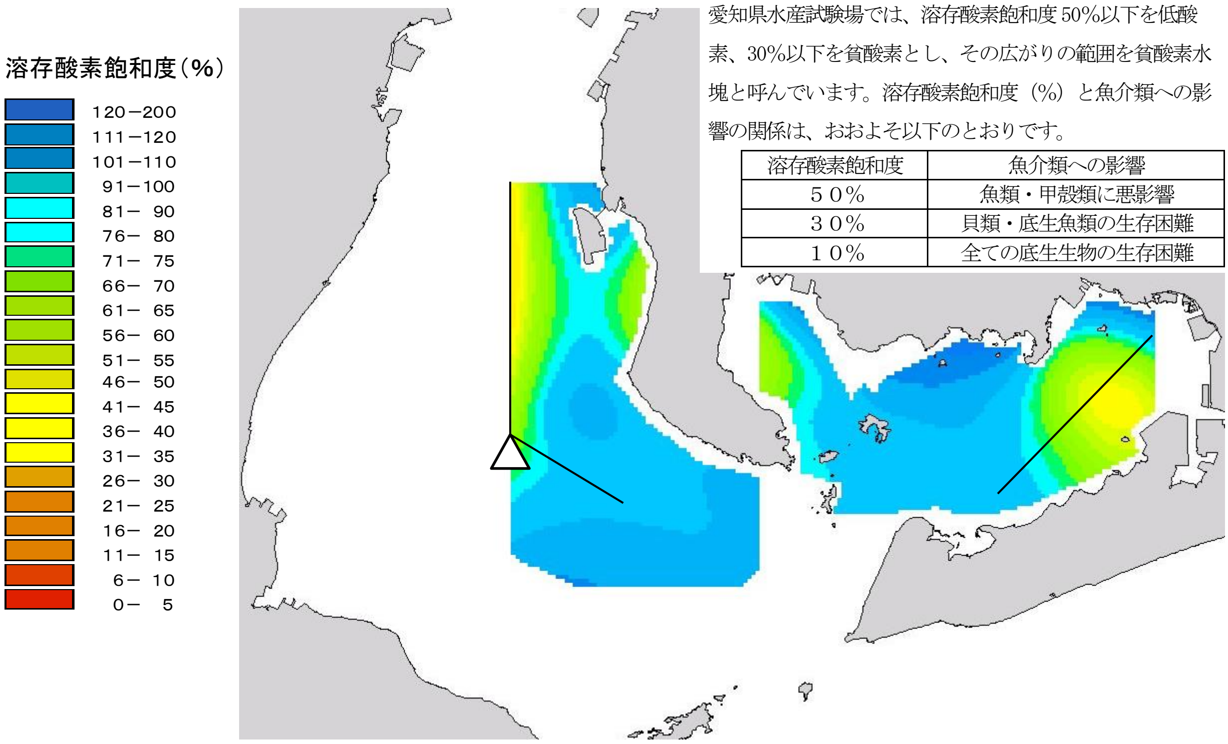
# 伊勢・三河湾貧酸素情報（Ｒ５－１７）

令和５年１１月７日
愛知県水産試験場　漁場環境研究部

令和５年１１月１日に伊勢湾、６、７日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

愛知県水産試験場では、溶存酸素飽和度 50%以下を低酸素、30%以下を貧酸素とし、その広がりの範囲を貧酸素水塊と呼んでいます。溶存酸素飽和度（%）と魚介類への影響の関係は、おおよそ以下のとおりです。

| 溶存酸素飽和度 | 魚介類への影響 |
|---|---|
| ５０％ | 魚類・甲殻類に悪影響 |
| ３０％ | 貝類・底生魚類の生存困難 |
| １０％ | 全ての底生生物の生存困難 |



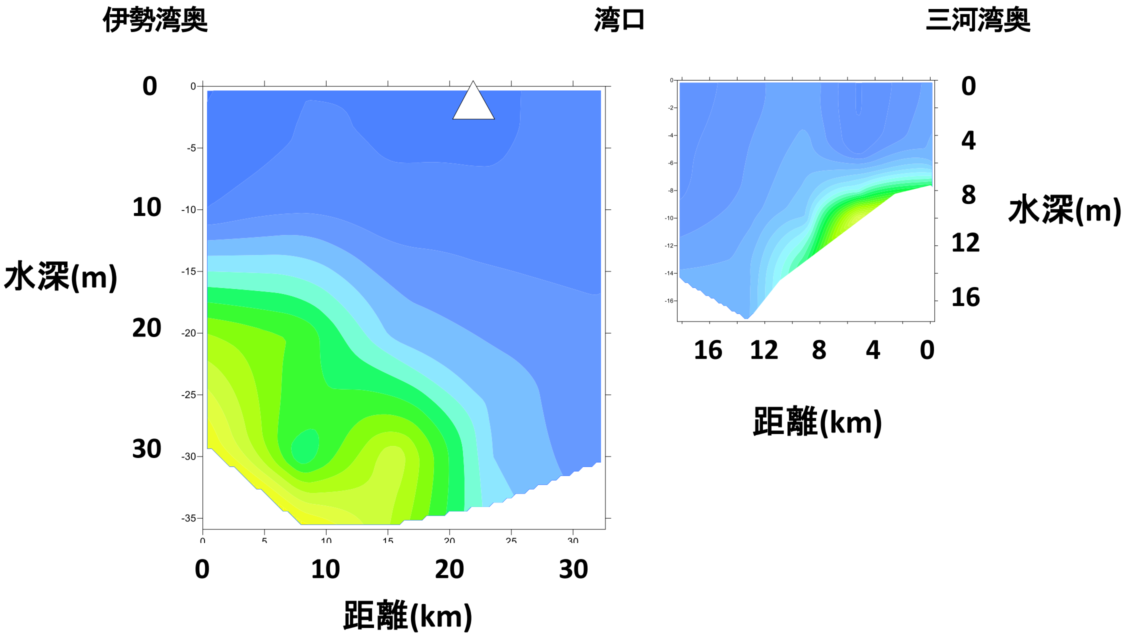




図１　伊勢湾（１１月１日）三河湾（１１月６、７日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「へいわ」調査）

**伊勢湾**

１１月１日の調査結果を図１に示しました。前回調査同様、貧酸素水塊は確認されませんでした。

今後は気温の低下とともに、海水の鉛直混合が進み、貧酸素水塊は形成されにくくなると考えられます。

表１　調査時の水温・塩分

| | 水温(℃) | 塩分 |
|---|---|---|
| 表層 | 20.9～21.3 | 30.5～32.6 |
| 底層 | 20.9～22.3 | 31.1～33.6 |

**三河湾**

１１月６、７日の調査結果を図１に示しました。前回調査同様、貧酸素水塊は確認されませんでした。

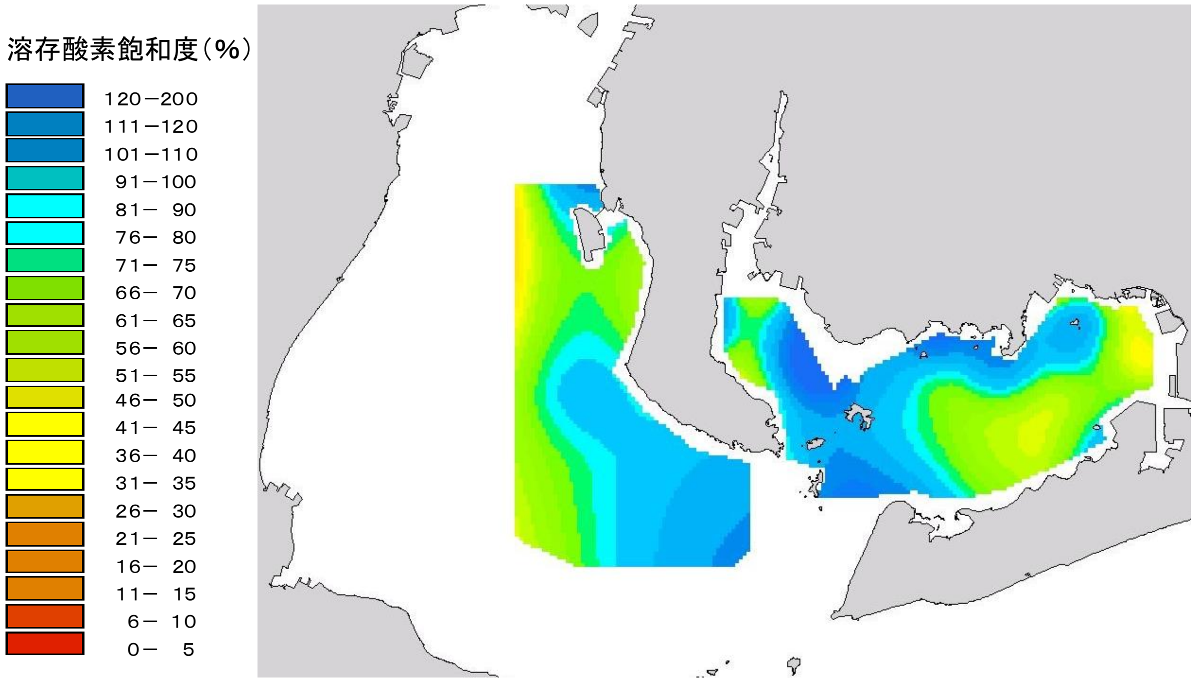
今後は伊勢湾同様、気温の低下とともに、海水の鉛直混合が進み、貧酸素水塊は形成されにくくなると考えられます。

表２　調査時の水温・塩分

| | 水温(℃) | 塩分 |
|---|---|---|
| 表層 | 19.7～21.8 | 29.3～32.6 |
| 底層 | 19.6～21.2 | 29.6～32.9 |

**参　考**

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況




令和５年１０月１９日（伊勢湾）、１０月１８、１９日（三河湾）

今年度の貧酸素情報については，今回で終了します。